

一般質問



文化の継承

須田 勝 議員

伝統文化

質問 市内各地域の伝統文化活動の実態と、子どもを中心とした若い世代への文化伝承の課題及び今後の支援策は。

生涯学習部長 地域で活動を続ける団体を継続支援するとともに、学校や公民館等と連携して伝統文化理解の下地づくりに努めます。

芸術文化

質問 市文化協会の高齢化の実態と合併後の市民総合文化祭のメリット・デメリット、地区文化祭や町内単位の身近な文化祭の状況は。



継承される子ども歌舞伎

生涯学習部長

高齢化の課題を含め、それぞれの役割を検証するとともに、身近な文化祭の必要性を認識し、継続支援していきます。

質問 スポーツ偏重と思われる小中学校の部活の実態と芸術文化活動の重要性と幼稚園・保育園での文化活動の実態は。

学校教育部長 小学校65校、中学校21校が芸術文化系で、情操教育の取り組みとして充実を図ります。

保健福祉部長 保育所等では季節の行事や遊びを通して地域の伝統文化に親しむ機会を設けています。

食文化

質問 小中学校における手作り弁当の実態と、無形文化遺産の「和食」と七草がゆをはじめとする、風俗（民俗）や季節に応じた日本固有の食文化の伝承を目的とした料理教室等、実施状況は。

学校教育部長 7校の小中学校が手作り弁当体験を実施しています。

生涯学習部長 公民館では日本固有の食文化の伝承を図るため、各種料理教室を継続実施します。



渋川市今後の課題

平方 嗣世 議員

新市建設計画の見直しについて

質問 市長は新たな事業を追加し、廃止事業を見直さない。無駄な事業は「やらない」勇気ある決断が真の政治。どのようなタイミングで見直し事業を行っているのか。

市長 合併特例債事業は、3年間の総合計画のローリングを行い選択しています。主要事業の見直しは、次期総合計画策定にあわせても一つの方法と考えています。

合併特例債

質問 公債費比率を参考に150億円の枠組みを決めたが150億円を超過する見込み。計画値を超過することについての見解は。

市長 現時点では、150億円を限度と考えていますが、仮に150億円を超える場合は、議会としてしっかり相談しながら進めます。

小中学校再編統合

質問 検討委員会の答申は甘く、教育委員会の決断は間違っていた。渋川市全体の学校区見直しを行うべきであるが考えは。

教育長 答弁に至るまで、十分議論が重ねられました。学校区の見直しについては、新しい学校区の線引きは行いませんでしたが、今後検討していきたいと考えます。

防災無線 高い渋川市の高齢化率。現在進めているデジタル化は市民全員が聴取できるのが原則。難聴地域の解消、室内器設置の考えは。

質問 高い渋川市の高齢化率。現在進めているデジタル化は市民全員が聴取できるのが原則。難聴地域の解消、室内器設置の考えは。

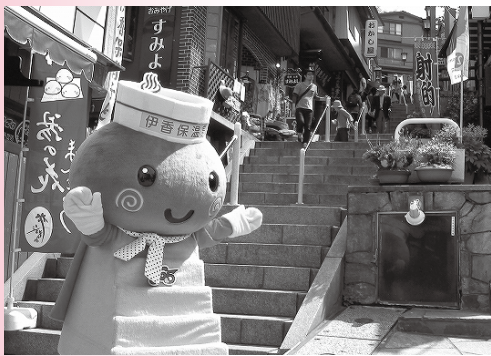
総務部長

難聴地域の解消にも取り組んでいます。戸別受信機は、やむを得ず難聴地域となってしまう一部の地区に対して設置します。



新築と統合が平行している
小野上中学校

一般質問



伊香保温泉キャラクター
「いしだんくん」



歳入確保への施策

中澤 広行 議員

質問 歳入確保の一つの方策として、伊香保温泉の誘客増が考えられるが見解を問う。

市長 伊香保温泉が潤うことにより、市内各地域も活性化が図られる。関連する産業である農林業や商工業など、あらゆる分野へ経済波及効果があると考えています。

質問 市が与える伊香保温泉の経済波及効果など、ベースとなる係数を検証すべき。見解を求める。

商工観光部長 市の観光客数等を県に報告して、県が一定の基準額により消費額等の積算を行い公表

しています。市独自の経済課題の積算は行っていません。

質問 市主催の観光戦略会議など開催されていないのが現状だ。広くアイデア・意見を公聴し、市の施策として構築すべきだが、いかがか。

商工観光部長 観光戦略会議の窓口は市の観光課を中心に、渋川伊香保温泉観光協会や関係する団体との協議を行い、より効率的に戦略を推進できる体制とします。

質問 観光基本計画に基づき誘客戦略、インバウンド戦略、スポーツ交流戦略、五輪キャンプ地誘致戦略、観光大使戦略、地域連携戦略など多方面に渡る戦略を立て、伊香保温泉の誘致数の増加を図り歳入増を目指すことを提言するがいかがか。

市長 観光事業は、外貨を獲得でき、裾野が広いため、市の経済に非常に重要です。早急にしっかりとした戦略を立て、予算を確保し、進めて行きたい。



小中学校普通教室にエアコン設置

安力川 信之 議員

頑張る学校を応援する政策を

質問 子どもたちはどこかでつまずいているのか、テストで判明した課題を示した上で弱点を克服するための指導方法や、教師を厚く配置するといった支援策を明示して、学力テストの公開をすべき。

学校教育部長 全国学力・学習状況調査結果について、全国や県の結果を踏まえ、市及び各学校ごとに結果分析を行い課題を把握しています。結果の公開については、実施要領にのっとり、学校名を明らかにした公開は考えていません。

教師が子どもと向き合える時間を
質問 理不尽な要求をする保護者や不登校の対応で、教師は疲弊している。また校務量も増大している。指導要領の電子化をはじめとする校務支援システム導入の考えは。本来の教える力を取り戻す支援が必要だ。

学校教育部長 現在市独自の事務管理システムを活用し、事務の効率化を図っています。今後さらに



特別教室に設置されている
エアコン

校務の効率化を図るために、光回線の整備やセンターサーバーの設置、新たな校務支援ソフトの導入に向け、総合計画にのっとり準備を進めています。平成26年度中に準備委員会を設置し、検討していきます。

一番暑い学校からエアコン設置を
質問 小中学校普通教室にエアコン設置の考えは。まずこの夏までに、市内で一番暑い小中学校の教室にエアコン設置を。

市長 エアコンの設置については平成26年度から段階的に設置していきます。